

Home & Personal

## 家庭・パーソナル

デジタルメディア機器 ..... 125

家庭電化製品 ..... 131

# デジタルメディア機器

2006年の地上デジタル放送の全国展開に伴い、ハイビジョン放送への期待が高まってきている。日立製作所は、デジタル家電のコア技術を生かし、高画質ハイビジョン フラット パネル テレビ“Wooo”をはじめ、ハイビジョン対応液晶プロジェクタ、地上デジタルハイビジョン対応のHDD/DVDレコーダーなどのハイビジョン対応機器を中心に「Woooワールド」を展開し、デジタル家電分野をリードしている。

## 新デジタル高画質処理技術“Picture Master”を搭載した ハイビジョン プラズマ テレビ「Wooo7000シリーズ」

大型フラット パネル テレビの市場は2001年度から急速に拡大しており、民生用プラズマテレビの需要は2003年度に25万台に達し、2004年度は約35万台の需要規模が見込まれる(日立製作所調べ)。

日立製作所はいち早くフラット パネル テレビ事業に取り組み、早期からハイビジョンに対応したフラットパネル戦略を提案してきた。その結果、2001年から2003年までの3年連続で販売シェア第1位を獲得(Gfk Japan調べ、量販店実績による。)するなど高い評価を得ている。今回、いっそうのシェア拡大をねらい、ハイビジョン プラズマ テレビ「Wooo7000シリーズ」(モニタ4サイズ5機種)を製品化した。今回発売する製品では、高画質、高品位デザイン、およびHDD(Hard Disc Drive)レコーダ搭載による新しい価値創出という以下の三つの要素に主眼を置いた。

(1) ハイビジョンなど、映像の高品位感・臨場感をさらにリアルに表現するため、新たに開発した新デジタル高画質処理技術“Picture Master(ピクチャーマスタ)”を採用した。これにより、

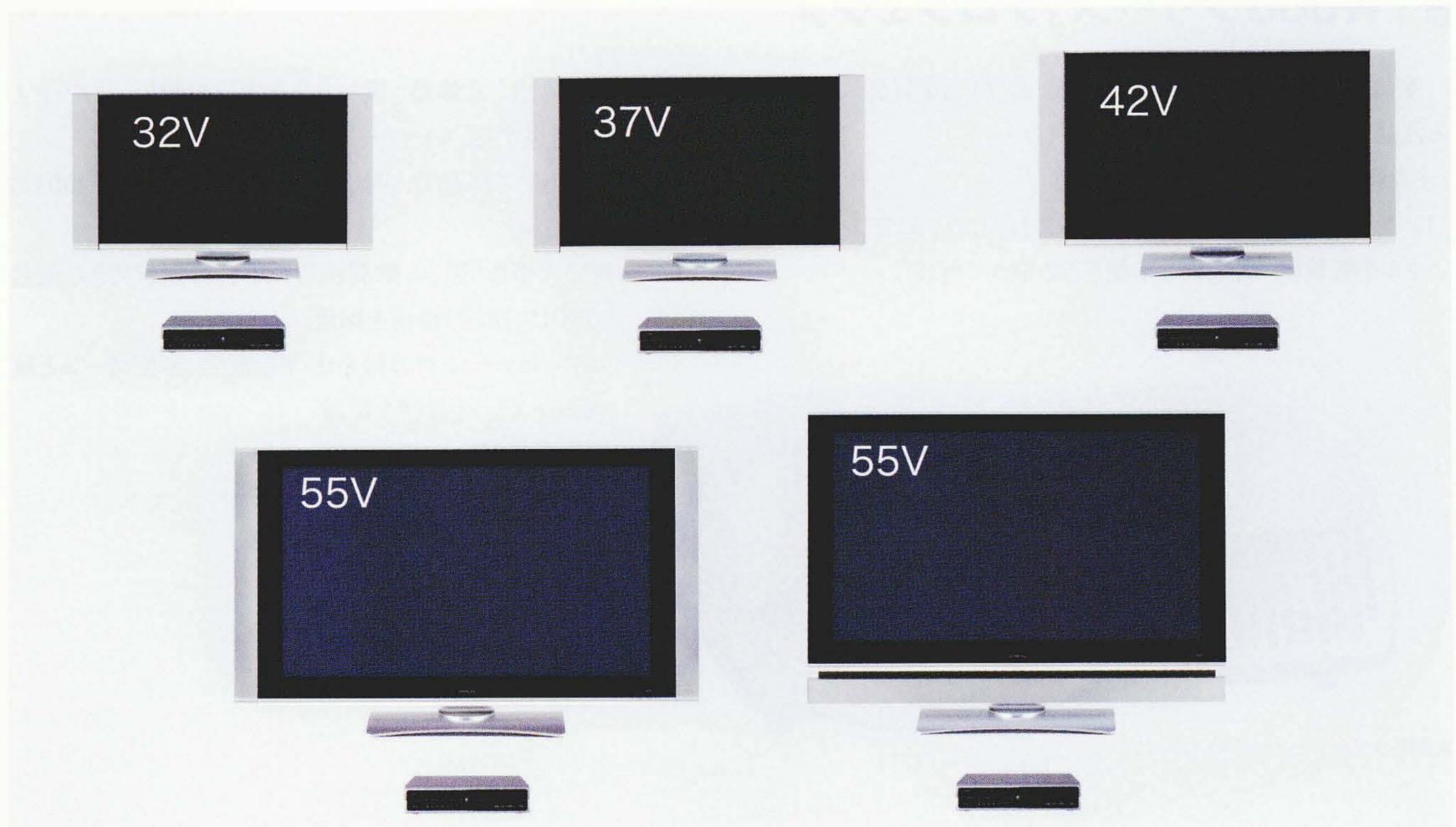
各シーンで常に高コントラストでくっきりとしながらもノイズがきわめて少ない映像を再生でき、従来の「平面的な映像」に比べ、いっそう「奥ゆき感ある映像」を実現している。

(2) 他分野を含むさまざまなデザイン動向を把握し、(a)奥行き感と、本物素材を用いたデザイン表現、(b)フラット感を強調したフォルムをコンセプトとした。

(3) HDDレコーダ搭載タイプでは、高画質ハイビジョン放送をHDDに簡単に録画できるその手軽さと、いつでも高画質ハイビジョン映像を楽しめることで、フラット パネル テレビの新しい価値を提案する。また、HDDとDVD(Digital Versatile Disc)レコーダを同時に搭載した機種により、好みの番組をDVDに保存できる。

リビングルームのテレビをすべてフラット パネル テレビに置き換えることを目標に、サイズや機能に対するユーザーのニーズにきめ細かく対応できる、幅広いラインアップを推進していく。

(発売時期:2004年9月)



ハイビジョン プラズマ テレビ「Wooo7000シリーズ」のフルラインアップ(モニタ4サイズ5機種)

## 視野角の広いハイビジョン液晶テレビ

### 「Wooo7000シリーズ」

大型フラットパネルテレビの市場は2001年度から急速に拡大しており、26V型以上の民生用大型液晶テレビの需要は、2003年度の52万台から2004年度は約78万台に達する見込み(日立製作所調べ)である。この動向に合わせ、視野角の広いハイビジョン液晶テレビ「Wooo7000シリーズ」(32V型、27V型2サイズ)を発売した。

32V型液晶テレビモニターでは、リアルハイビジョンアスペクト比16:9を実現した新開発のAS-IPS(Advanced Super In-Plane Switching)ハイビジョン液晶パネルに独自のワイドビューフィルタを組み合わせることによって、ブラウン管と同等の広い視野角(上下左右176度、JEITA規

格準拠)を獲得している。また、高速液晶材の採用とオーバードライブ回路の適用により、残像感のない映像を実現した。

(発売時期:2004年10月)



ハイビジョンフラットパネルテレビ「Wooo7000シリーズ」の32V型ハイビジョン液晶テレビモニター(左)と、AVC(Audio-Visual Control)ステーション[HDD(Hard Disc Drive)搭載タイプ](右)

## 映画やハイビジョン放送を高画質な大画面で楽しめる

### 「Woooシリーズ」プロジェクタ

家庭内で大画面の映画やハイビジョン放送を気軽に楽しめる液晶プロジェクタを発売した。

〔主な特徴〕

(1) デジタルハイビジョン放送信号に対応した720Pワイド液晶パネルを搭載し、高精細な映像をきめ細かく再現

(2) 映像の質感、立体感、奥行きを忠実に再現し、リアリティある映像を実現する「スーパーフォーカスレンズ」を搭載

(3) 大口径レンズ搭載で、明るい部屋でも楽しめる1,200lmの高輝度を実現

(4) 映画で大事な「黒」の階調再現を手軽に選択できる電動アイリス(絞)機構を採用

(5) セッティングの幅を広げる光学1.6倍ズームと縦横レンズシフト機構を採用

(発売時期:2004年6月)



高画質・大画面プロジェクタ「PJ-TX100J」

## 地上デジタルハイビジョン対応HDD内蔵DVDレコーダ 「Wooo ハイ録」

地上デジタルチューナを搭載し、ハイビジョン番組の録画・再生が簡単にできるデジタルハイビジョンレコーダ3機種を発売した。

〔主な特徴〕

(1) 大容量HDD搭載

DV-DH400Tでは400 GバイトのHDD(Hard Disc Drive)を搭載し、ハイビジョン番組をそのままの画質で約40時間録画

(2) DVD(Digital Versatile Disc)マルチドライブ搭載

DVD-RAM/-RW/-Rの録画・再生、+RW/+Rの再生に対応し、高速ダビングが可能

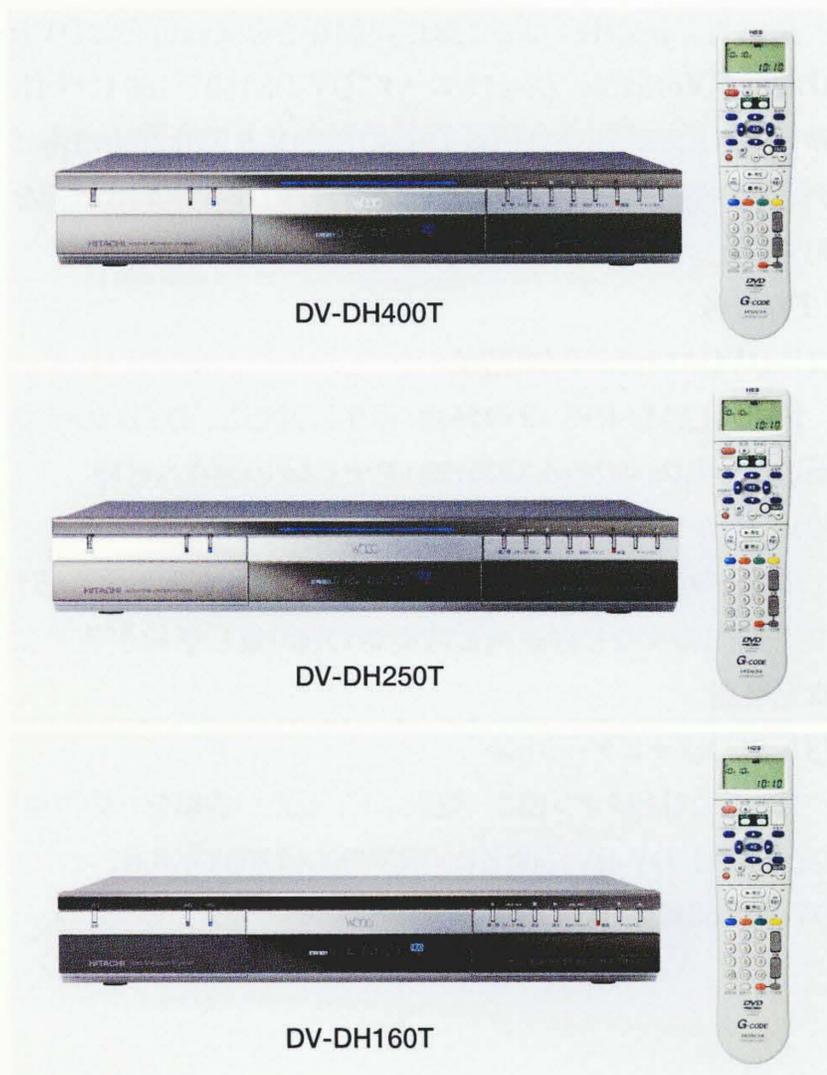
(3) EPG(電子番組表)

テレビ画面上で簡単に番組の検索や予約ができ、ジャンル指定や文字入力で絞り込み検索が可能

(4) 独自の「ミルカモ予約」

連続ドラマなど毎週同じ時間帯の繰り返し予約が簡単に設定可能

(発売時期: DV-DH400TとDV-DH250Tは2004年10月, DV-DH160Tは2004年11月)



「Wooo ハイ録」のラインアップ

## 大容量HDD搭載DVDレコーダ

大容量HDD, DVDマルチドライブ, 高画質化回路を搭載したHDD/DVDレコーダ“MS-DS400”と“MS-DS250”を発売した。

〔主な特徴〕

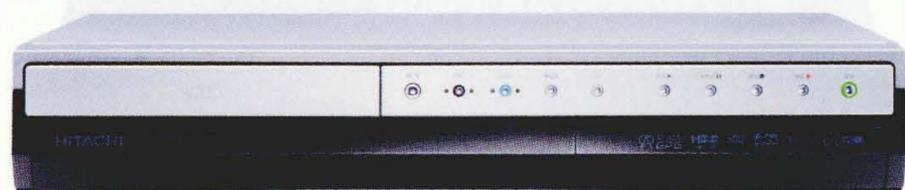
(1) 400 Gバイト・250 Gバイトの大容量・高速HDDの搭載により、最長約360時間・約220時間の録画が可能

(2) DVDマルチドライブの搭載により、DVD-RAM/-RW/-Rの録画・再生に加え、+RW/+Rの再生が可能

(3) ADAMS\*-EPG(電子番組表)の搭載により、番組の高速検索や、EPG情報を用いた番組終了時刻のオートストップ録画が可能

(4) タイトルの誤削除に対する録画タイトル復元機能, 放送番組の時間変更などに対して確実に録画を行う自動延長録画機能を搭載

(発売時期: 2004年5月, 6月)



大容量HDD搭載DVDレコーダ“MS-DS400”(400 GバイトHDDモデル)

\*は「他社登録商標など」(153ページ)を参照

## マルチドライブ搭載簡単操作DVDレコーダ

### 「Woooシリーズ」

高画質で検索性のよさと操作の簡単さを兼ね備えたDVD (Digital Versatile Disc)レコーダ“DV-DS160”〔160 GバイトのHDD(Hard Disc Drive)内蔵〕, “DV-RV7000”(VHSビデオ一体型), “DV-RX7000”(単体のDVDレコーダ)3機種を発売した。

〔主な特徴〕

(1) DVDマルチドライブ搭載

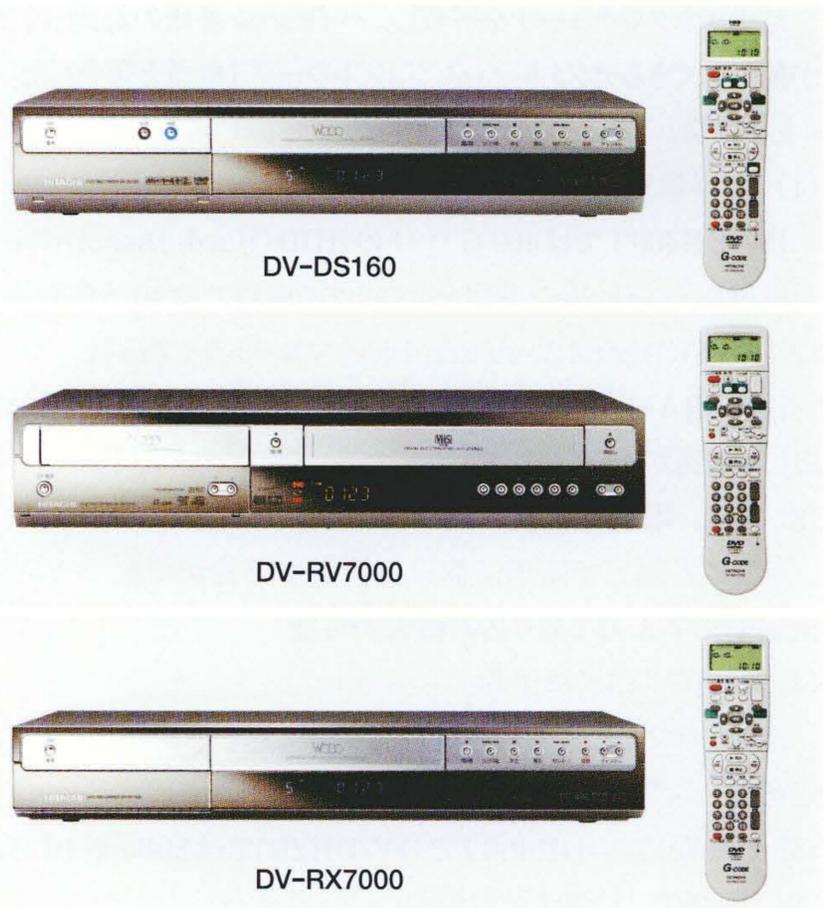
DVD-RAM/-RW/-Rの録画・再生に対応し、DVDカメラで撮影した未ファイナライズのDVD-Rディスクの再生も可能

(2) ミルカモ予約(DV-DS160)

曜日と時間帯にカーソルを合わせ、チャンネルを入力するだけで、連続ドラマなど毎週同じ時間帯の繰り返し予約が簡単に設定可能

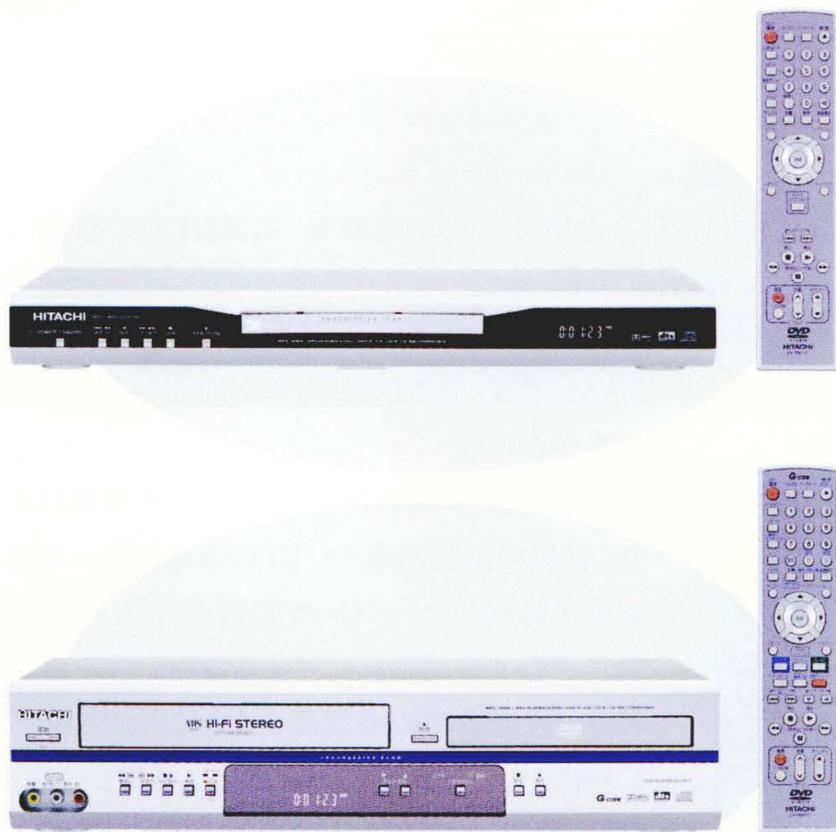
(3) ディスクナビゲーション

録画した番組をテレビに一覧表示し、見たい番組を一発再生(発売時期:DV-RV7000とDV-RX7000は2004年8月, DV-DS160は2004年10月)



DVDレコーダ「Woooシリーズ」のラインアップ

## プログレッシブ再生DVDプレーヤ



DVDプレーヤ“DV-P700”(上)とVHSビデオ一体型DVDプレーヤ“DV-PF7”(下)

プラズマテレビ「Woooシリーズ」などのプログレッシブ対応テレビと組み合わせて、DVDソフトウェアを高画質映像で楽しめるDVDプレーヤ“DV-P700”と、VHSビデオ一体型DVDプレーヤ“DV-PF7”を2004年4月から順次発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 高画質プログレッシブ再生機能を搭載
- (2) 市販のDVDビデオソフトウェアだけでなく、DVD-R、音楽CD、CD-R/RWに記録されたMP3ファイル、JPEGファイルの再生に加え、新たにWMA(Windows Media\*Audio)ファイルの再生機能を搭載
- (3) 見たいシーンを探し出すのに便利なディスクナビゲーション機能を搭載
- (4) 51 mmのスリムデザイン(日立製作所従来機種比約92%)(DV-P700)
- (5) 高級感を演出するハーフミラー処理を採用(DV-PF7)

\*は「他社登録商標など」(153ページ)を参照

## 「かんたんモード」搭載

### DVDビデオカメラ「Woooシリーズ」

基本機能を充実させながら使いやすさを追求したDVDビデオカメラ“DZ-MV580”(ワイド撮影モード対応で光学10倍ズームレンズ搭載)と、“DZ-MV550”(光学18倍ズームレンズ搭載)の2モデルを発売した。

〔主な特徴〕

(1) 重ね撮りの失敗がない。

撮影時にディスクの空きエリアを自動的に検索して録画できる。

(2) 見たいシーンがすばやく再生できる。

「ディスクナビゲーション」によって撮影したシーンを一覧表示し、見たいシーンを一発再生できる。

(3) 削除も編集も簡単

録画済みの不要シーンの削除や、シーンの順番の入れ替えがカメラ1台でできる。

(4) 初めての人も使いやすい「かんたんモード」

ボタンの切り替えでメニュー画面を基本機能だけに絞って表示できる。

(発売時期：DZ-MV580は2004年2月、DZ-MV550は2004年3月)



「Woooシリーズ」DVDビデオカメラのラインアップ

## コンシューマーパソコン「Priusシリーズ」

パソコンに対するニーズが多様化する中で、パソコンとしての使い勝手を重視した「Prius Airシリーズ」とAV(Audio-Visual)機器の融合を目指した「Prius Deckシリーズ」の二つ

のコンセプトをデスクトップパソコン、ノートパソコンでそれぞれ製品化した。

〔主な特徴〕

(1) Prius Airシリーズ

(a) 家庭のインテリアになじむホワイトを基調としたシンプルなデザイン

(b) テレビ視聴・録画からデジタルカメラ編集まで、ふだん使う機能を統合して使いやすさを極めた専用アプリケーション“Prius Air View”を搭載

(2) Prius Deckシリーズ

(a) 高品位にこだわった飽きのこないデザイン

(b) 2番組同時録画やキーワード自動録画、録画データ管理機能など大容量HDD(Hard Disc Drive)を活用したAV機器に迫るテレビ視聴、録画機能を搭載

(発売時期：2004年10月)



「Prius Airシリーズ」(上)と、「Prius Deckシリーズ」(下)の新ラインアップ

## au初の「スライドケータイ“W22H”」

機能とデザインを両立させたau初の「スライドケータイ“W22H”」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 片手でスムーズにスライドをオープンできるスライドアシスト機構のほか、スライドオープンで通話、クローズで終話などが可能な、スライド連動機能も併せて搭載
  - (2) 閉じたままでメールやムービーの閲覧ができる2.4型前面QVGA(Quater Video Graphics Array)液晶ディスプレイを搭載
  - (3) 好みの1曲をまるごとダウンロードできるEZ「着うたフル\*」に対応
  - (4) 大迫力の音が楽しめる、高音質ステレオスピーカーを搭載
  - (5) 日立製作所のパソコン「Priusシリーズ」の2004年秋冬モデル(パソコン用ソフトウェア“MediaStage SE”搭載の一部機種)で録画したテレビ番組をminiSD\*メモ리카ードに記録して楽しめる、SD-Video〔ASF(Advanced Streaming Format)ファイル形式〕再生に対応
- (発売時期:2004年11月)

\*は「他社登録商標など」(153ページ)を参照



au初の「スライドケータイ“W22H”」

## DVDスーパーマルチドライブ

記録型DVD(Digital Versatile Disc)ドライブの需要が急速に伸びており、2004年は前年の約2倍に、2005年もさらに50%以上伸びると予想されている。この中で、すべての記録型フォーマットに対応したDVDスーパーマルチドライブの第三世代に当たる新製品“GSA-4160B”を発売した。

この製品は、DVDの記録スピードの限界とも言われている16倍速(+R)記録に対応したDVDスーパーマルチドライブである。

〔主な特徴〕

- (1) 業界最高水準の記録スピードに対応
    - (a) DVD-RAM:5倍速
    - (b) +R:16倍速
  - (2) 記録容量を大幅に増加させる(8.5 Gバイト)ダブルレイヤディスク(+R)の記録に対応
  - (3) 新開発のキーコンポーネントにより、高速・高品質記録を実現(株式会社日立エルジーデータストレージ)
- (発売時期:2004年9月)



DVDスーパーマルチドライブ“GSA-4160B”

	記録(倍速)	再生(倍速)
DVD-ROM(SL)	—	16
DVD-ROM(DL*1)	—	8
DVD-R	8	10
DVD-RW	4	8
DVD-RAM	5	5
+R(SL)	16	10
+R(DL*2)	2.4	8
+RW	4	8
CD-ROM	—	40
CD-R	40	40
CD-RW	24	40

注:略語説明 SL(Single Layer)、\*1 DL(Dual Layer Disc)、\*2 DL(Double Layer Disc)

媒体別最大記録・再生速度

# 家庭電化製品

家庭電化製品の分野では、デジタル家電や付加価値の高い家庭電化製品が伸張するとともに、高級品と普及品指向の二極化も進展するなど、大きく変化している。このような状況に合わせ、グローバルな視点での商品開発、営業ルート、サービス面の充実を進めることにより、性能・機能・デザイン面で一貫性のある卓越した製品の追求を目指す。

## 給気と排気に加えて、除菌・脱臭機能も搭載したルームエアコン

### 「フレッシュ給排 白くまくん Sシリーズ」

給排気機能を進化させ、ナノチタン除菌・脱臭機能を搭載した、クリーンな住空間を創出する「フレッシュ給排 白くまくん」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) ターボファンを採用し、風量を3段階に調節できる給気・排気機能で、部屋の空気をクリーンかつ新鮮に保つ。
- (2) 通風路の給気フィルタに「ナノチタン除菌・脱臭」を採用し、外気をきれいにして取り入れる給気機能
- (3) 空気の汚れを感知し、自動で汚れを排出後、新鮮な空気を取り入れる自動給排気機能
- (4) マイナスイオンで汚れを引き寄せ、さらに、ナノチタンで部屋の空気を除菌、脱臭する「ナノ

チタンイオン空清」

- (5) エアコンの心臓部である圧縮機に新開発のダブル アクセルシステムを搭載し、省エネルギーと暖房力を飛躍的に向上

(日立ホーム&ライフソリューション株式会社)

(発売時期:2004年12月)



ルームエアコン「フレッシュ給排 白くまくん Sシリーズ」

## 「トリプル新鮮冷凍」と氷の大きさが選べる「セレクト製氷」採用で

### 冷凍機能を進化させたツインドア冷蔵庫「The プロフリーザ!」

冷凍保存性を高め、半ドアを防止する「ドアピタ」を採用した冷蔵庫「The プロフリーザ!」を発売した。



ツインドア冷蔵庫「The プロフリーザ!」

〔主な特徴〕

- (1) 約-40℃冷気による急速冷凍(ハイスピード冷凍)と低温保存(パワフル冷凍)に加え、ドア開閉による冷凍室内の温度上昇を抑える「オートクール機能」を追加し、これら三つの冷凍性能向上機能を組み合わせることで、これまでにない優れた冷凍システムを実現
  - (2) 多様化した氷へのニーズに対応するため、氷の大きさを「大きめ」と「標準」の二つから選べる「セレクト製氷」を搭載
  - (3) ユニバーサルデザインの視点に立ち、ドアの閉め忘れを防止するため、ドアが閉まる手前で冷蔵庫本体に引き込む構造の「ドアピタ」を冷蔵室ドアに採用
  - (4) 業界で初めて、圧縮機の低回転時に振動を抑える新制御方式などを搭載し、省エネルギーと低騒音とを同時に実現
  - (5) 庫内クリーン機能で「ナノチタン触媒」をフィルタに活用し、「全室脱臭&除菌」を実現
- (日立ホーム&ライフソリューション株式会社)  
(発売時期:2004年11月)

## 高い洗浄力と節水No.1<sup>※)</sup>を実現した第3世代洗濯乾燥機

### 「ビートウォッシュ」



ビートウォッシュ“BW-DV8E”

世界初の「節水ビート洗浄」で、高い洗浄力とドラム式を超える節水性能を実現した洗濯乾燥機「ビートウォッシュ」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 新しい発想から開発した洗濯羽根「ビートウイング」で衣類を上下に振動させ、循環ポンプで高濃度洗剤液を繰り返し振りかけることにより、従来の約半分の水量で、布傷みを抑えながら優れた洗浄力を実現
- (2) 毎分1,000回転の高速脱水と高効率乾燥ユニットなどのスピード乾燥技術を駆使し、業界最速の約120分で4kgの衣類の洗濯・乾燥が可能
- (3) ワイド槽の採用により、業界最大の7kg乾燥を実現
- (4) 操作パネルをふたと一体化することにより、ワイド投入口を実現し、浅底の洗濯槽と合わせ、衣類が楽に出し入れできる。

(日立ホーム&ライフソリューション株式会社)

(発売時期:2004年6月)

※) 2004年4月21日現在、家庭用洗濯乾燥機において。

洗濯8kg(標準コース)時。

## ハイパワーが持続し、手入れが簡単な紙パック不要のクリーナ

### 「たつまきサイクロン」

高い吸引力と持続力を実現し、使い勝手と衛生機能を向上させた、紙パック不要のクリーナ「たつまきサイクロン」を発売した。

〔主な特徴〕

- (1) 高性能ハイパワーモータと低損失技術により、サイクロン方式で業界最高の吸い込み仕事率590Wを実現
- (2) 電源コードを引くだけで、自動でちりを落としてフィルタをリフレッシュし、高い吸引力を持続させる「オートクリーニング機構」
- (3) ヘッドの操作労力を80%以上軽減<sup>※)</sup>させた「パワフルスーパー自走ヘッド」
- (4) ヘッドを外すと出現し、適切な角度で透き間や高所の掃除ができる「クルッとブラシ」
- (5) 細菌やアレルゲン(ダニ・スギ花粉)、においまでもキャッチする「アレルオフ・マルチ除菌消臭システム」

(日立ホーム&ライフソリューション株式会社)

(発売時期:2004年7月)



ハイパワークリーナ「たつまきサイクロン」“CV-SH10”

※) 8年前の当社機種“CV-W82”と“CV-SH10”の比較(前進時)